

【やままゆ連・手作りカフェ】

真綿の糸よりと紙箱織り

9月2日(土) 10:00~12:00 平和台集会所

この日は残暑が厳しい中にも、少し秋の気配が感じられる日でした。

参加者はスピンドルを使って真綿を糸に紡ぐ作業と、紡いだ糸を箱を使って織る作業とに分かれました。

私は再びスピンドルに挑戦したのですが、なかなか思うように紡げません。ベテランのKさんがやって見せてくれると、見事にきれいな糸が紡がれていきます。悪戦苦闘しながら、それでも絹の美しさ、しなやかさをしっかり感じながらのひと時でした。

11月に鶴川第二小学校でヤママユの糸を紡いで見せるそうで、子どもたちの喜ぶ顔が目に浮かびます。

紙箱織は紙箱の両端に7mm間隔で刻み目を入れ、縦糸を張ります。横糸に、紡いだ真綿の糸などを通していきます。織機の原型といえるものでしょう。織っている人が織姫に見えました。

やままゆカフェ：新栗と新サツマの茶巾、栗の  
パイ皮包み (斎藤好子)



スピンドルと織物



紙箱織機